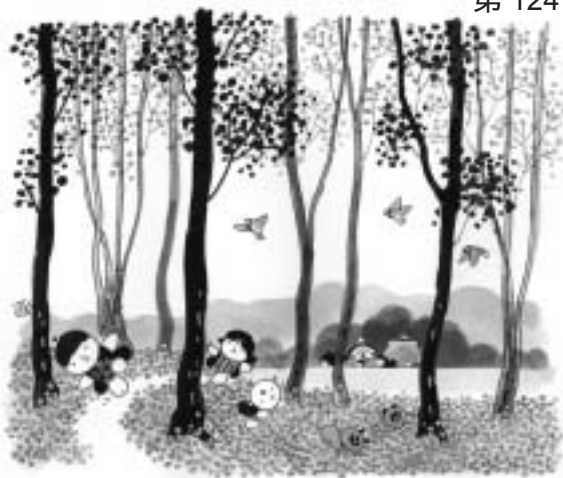


池原 昭治

さやまのふるさと

第124話



里山だより
 9月の林の中は、夏と秋とが握手をしたり、そっぽを向いたりしています。季節のすき間がちょうどこの月です。8月の猛暑が少しずつ薄れたし、残暑も過ぎ、朝晩はひんやりとした風が心地よく、ほっと一息つけるころです。
 月のきれいな夜が始まり、いつともなく聞こえてくる一匹の虫の声、と言っている間もなく何日かする

と、秋の虫の大合唱…まぎれもない！そと近づいていた、秋の音です。
 私は家の近くの雑木林が大好きで、毎日のように、「秋を見つけるため」スケッチブックを持って歩いていきます。林の枝の間から見上げた空には、うるる雲が…そして、とんぼが群れて移動していました。足元にはみずひきの赤い実が、ひとさわ鮮やかに咲いています。秋もふつくらとひらきはじめ、やまぐりの青い実

がまた大きくなり、せみの声も遠のき、シジユウカラの明るいさえずりが、心をなごませてくれます。あれっ！モズの声でしようか、今鳴いたのは…。今、雑木林の中の音響と色調の世界は、夏と秋とが入り交じりにぎやかです。
 萩、スス夫、尾花、葛撫子、女郎花、藤袴、桔梗と、秋の七草もそろそろ顔を出すころです。



市の鳥 / おなが

おながは、市内に一番多く見られ、林の中や人家付近の立木にもきます。また、尾の長い姿や色が優美なところから、市の鳥として決まりました。

狭山が発祥の地

童句

7月3日に、童句の創始者・土家由岐雄氏の七回忌記念童句大会が行われました。今月号は入選句を掲載します。

入選

- いにしへに 翁も遊びし 蛭狩り 与田久真(狭山市)
- 筒の のぞき見している 姉の部屋 笠本睦子(狭山市)
- 信号無視 スイスイ渡る つばめかな 大沢久美(狭山市)
- 「入るよ」と こたつの主の 猫に言つ 福井茂子(狭山市)
- 父さんが 帰るまで待つ 大西瓜 金子美洋子(狭山市)
- 五百羅漢 顔すれすれに 春の蝶 木村鈴子(狭山市)

何かな？ 今月の写真クイズ

写真は、今月号に掲載した写真を拡大したものです。何ページの何の写真でしょうか？
 正解者の中から、抽選で5名に記念品を差し上げます。官製はがきで広報課あてにお送りください。



締切り9月30日(金・当日消印有効)

8月10日号の答え

表紙の写真「キッズトライアスロン大会」の自転車のタイヤでした。



表紙の写真

8月22日 から9月1日 まで都市対抗野球が行われ、東京ドームを舞台に熱戦が繰り広げられました。24日 には、昨年準優勝の狭山市代表のホンダが登場。対戦相手は浜松市代表で、9対2で1回戦を突破。大声援を背に2回戦も勝ちましたが、30日 の準々決勝で惜しくも敗退しました。



狭山市公式モバイルサイトのQRコード
 QRコードに対応した携帯電話で読み取ると公式モバイルサイトへ簡単にアクセスできます